

## 遷延する牛乳アレルギー患者の骨密度に関する研究

### 1. 研究の対象

2019年3～6月にアレルギー科を受診する7～20歳の牛乳アレルギーの方

- ・ 牛乳完全除去又は5ml相当以下の摂取量の方

対象となった方には個別に説明し、同意書を頂いています。

### 2. 研究目的・方法・研究期間

牛乳除去によるカルシウム不足で骨密度の低下(骨粗鬆症)をおこしていないかどうか検査します。レントゲンによる骨密度測定、希望者には食事記録によるカルシウム摂取量の評価などを行います。検査結果は、その日のうちに報告をして、不足のある方には栄養教育などを行います。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

骨密度の検査は通常の保険診療として行い、そのデータを解析します。

牛乳アレルギーの病歴や食事の内容は、管理栄養士が具体的に問診します。

### 4. 外部への試料・情報の提供

この研究は、名古屋学芸大学管理栄養学科と協力して行います。得られた情報や食事記録を同大学で解析し、その結果は管理栄養士がお返しします。

個人が特定できる情報はアレルギー科内部のみで保管します。

### 5. 研究組織

研究責任者：伊藤浩明(副センター長兼総合診療科部長)

共同研究者：アレルギー科 高里良宏、松井照明、スタッフ一同

#### 連絡先

あいち小児保健医療総合センター アレルギー科

愛知県大府市森岡町七丁目 426 番地 電話：0562-43-0500 (代表)

アレルギー科秘書メールアドレス：allergy-secretary@cd5.so-net.ne.jp

#### 共同研究機関

名古屋学芸大学 管理栄養学部 小児栄養学研究室

愛知県日進市岩崎町竹ノ山 57 番地 電話：0561-75-7111 (代表)

榎村春江 (メールアドレス：[harue-u@nuas.ac.jp](mailto:harue-u@nuas.ac.jp))

-----以上